

高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第34週[8月23日～8月29日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/
E-mail:kansen@ken4.nref.kochi.in

検査速報 第2例目 A型香港型 (AH3) インフルエンザウイルス検出

県内では、第29週に中央東福祉保健所管内の医療機関でインフルエンザ(簡易迅速キットA型陽性)と診断された患者から、今年初めて季節性インフルエンザウイルスのA香港型(AH3)が検出されている。第34週に第2例目となるA香港型(AH3)が、幡多福祉保健所管内の医療機関でインフルエンザ(簡易迅速キットA型陽性)と診断された患者2名から検出された。

また、他県では、第31週に新潟県の高齢者施設でA香港型(AH3)による集団感染事例が報告されており、今後は季節を問わず、インフルエンザの発生に注意する必要がある。

県内情報

○ 患者情報総評

注意報発令疾患: なし

- 手足口病がやや増加したが、他の疾患の大幅な増加はなく、全体的に低レベルの発生で総数は引き続き減少している。
- インフルエンザは6月中旬以降報告がなかったが、今週、幡多から2名の報告があった。2名ともA香港型が検出されており、今後の状況が注目される。
- 手足口病(安芸:注意報→注意報, 高幡:注意報→注意報, 中央西:注意報, 幡多:注意報)は順調に減少していたが、今週やや増加し注意報値を越す地域が多くなった。
- ヘルパンギーナ(安芸:注意報)は安芸にやや多いが、他の地域では散発程度の発生となっている。

上位疾患構成図 ヘルパンギーナ



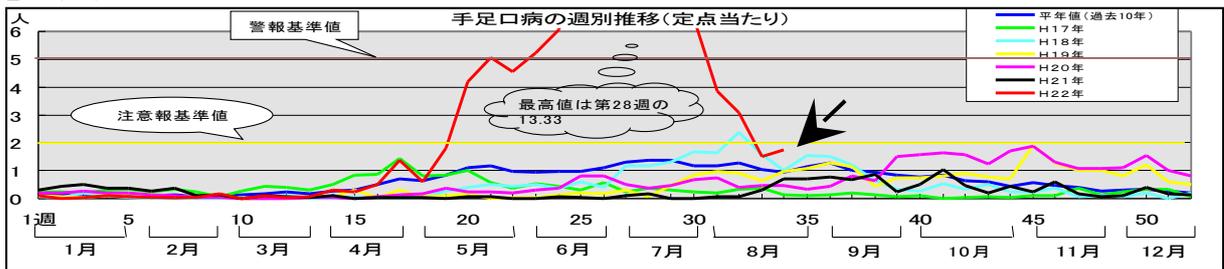
地域別感染症注意報・警報発生状況

第34報 (2010年8月23日～2010年8月29日)



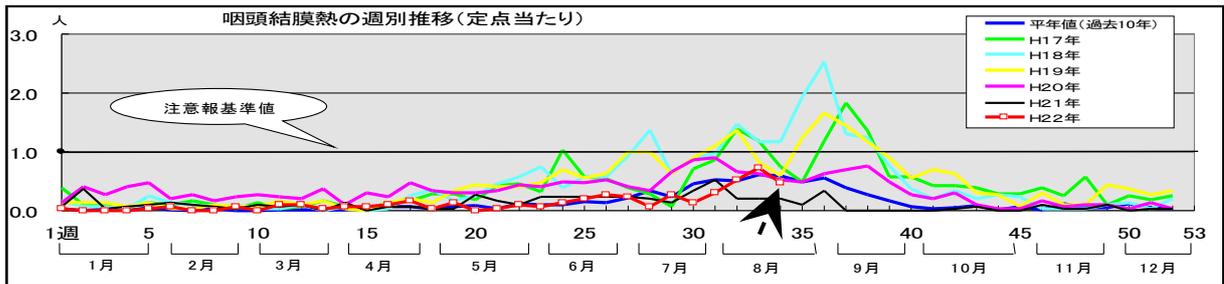
手足口病：今週1.73（注意報値：2.00 警報値：5.00）

高知市と中央東を除く全地域で注意報値を超し、総数もやや増加したが、今後の大幅な増加はないと思われる。



咽頭結膜熱：今週0.47（注意報値：1.00 警報値：3.00）

高幡，中央西で注意報値を超しているが，全体的に散發程度の発生に留まっている。



○ 検査情報

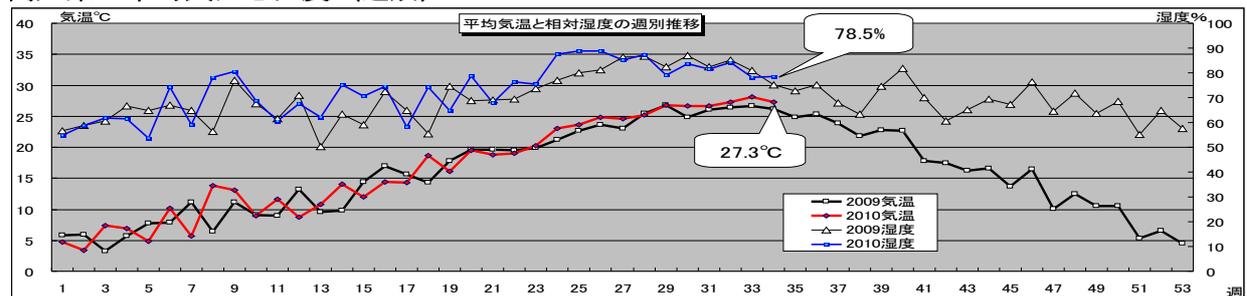
週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
32	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3歳 男	高幡	<i>Streptococcus pyogenes T-12</i>
33	感染性胃腸炎	9歳 男	中央東	<i>Campylobacter jejuni</i>
33	マイコプラズマ肺炎	9歳 女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ肺炎	2歳 男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ肺炎	4歳 男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ肺炎	6歳 女	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
33	咽頭結膜熱	11カ月 女	高幡	<i>Adenovirus 2</i>
33	咽頭結膜熱	2歳 男	高幡	<i>Adenovirus 2</i>

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 4例（49歳男，25，88歳女）《高知市》（76歳男）《幡多》
（今年105例：削除されるケースもあるため数字が変動する．）

3類感染症：レジオネラ症 1例（66歳女）《高知市》（今年3例）
日本紅斑熱 3例（64，85歳男，63歳女）《安芸》（今年4例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《さたけ小児科》：膿痂疹 7例（1，1，3，4歳男，1，1，4歳女）
ヘルペス性歯肉口内炎 3例（1，1歳男，1歳女）
今季初めてのインフルエンザ患者 2例（簡易キットでA型陽性：四万十市在住）

《渭南病院小児科》：マイコプラズマ肺炎 1例（8歳男）

高幡：

《もりはた小児科》：マイコプラズマ肺炎 3例（2歳男，6，13歳女）
カンピロバクター腸炎 2例（9歳男，11歳女：第33週）

中央西：

《くぼたこどもクリニック》：水痘の1例（4歳男）は須崎市
《石黒小児科》：ヘルペス性歯肉口内炎 1例（5歳女）

高知市：

《けら小児科・アレルギー科》：マイコプラズマ肺炎 2例 (5, 6歳男)
カンピロバクター腸炎 2例 (9, 16歳男)
アデノウイルス扁桃炎 4例 (4, 8歳男, 2, 8歳女)
百日咳 1例 (10歳女：東浜株320倍, 山口株320倍, DPT×4回, 馬路村在住)

《町田病院》：流行性角結膜炎の1例 (40歳代男) はアデノウイルス(+)

中央東：

《早明浦病院小児科》：感染性胃腸炎の2例 (4歳男, 1歳女) はアデノウイルス陽性
1例 (7歳男) はカンピロバクター腸炎：痙攣, 発熱, 下痢

《吉本小児科皮膚科》：咽頭結膜熱の1例 (3歳女) はアデノウイルス陽性

安芸：

《田野病院小児科》：アデノウイルス扁桃炎 1例 (5歳女)

全国情報第32週 (8/9～8/15) (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

2類感染症：結核355例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症164例 (有症者121例、うちHUS 7例)、腸チフス2例

4類感染症：E型肝炎2例、A型肝炎2例、Q熱1例、デング熱7例、日本紅斑熱5例、マラリア4例、レジオネラ症10例

5類感染症：アメーバ赤痢15例、ウイルス性肝炎2例 (B型2例)、急性脳炎1例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群17例 (AIDS 2例、無症候14例、その他1例)、梅毒3例 (早期顕症II期1例、無症候2例)、風しん2例、麻しん6例 (累積報告数：343例)

(補) 他に2010年第31週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例、腸チフス1例、デング熱7例、日本紅斑熱3例、急性脳炎2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例 (、風しん1例などの報告があった。

◆手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2010年

エンテロウイルス71型 (EV71) は、過去1997、2000、2003、2006年と3年周期で増加を繰り返している。2009年の報告は少なかったが、2010年に入ってから例年より早い時期に検出されており、第32週までに高知県92件、鳥取県42件、大阪府34件、大分県30件、広島県27件、愛知県23件、和歌山県22件、兵庫県19件、愛媛県18件、栃木県17件、山形県、奈良県各16件、熊本県13件、島根県11件、香川県9件、群馬県、山口県各7件など西日本を中心に33道府県から460件の検出が報告されている。このうち、手足口病患者から360件、無菌性髄膜炎患者から18件、ヘルパンギーナ患者から12件、急性脳炎・脳症患者から4件が検出されている。

EV71の他に手足口病患者から検出されているエンテロウイルスは、A群コクサッキーウイルス (CA) 16型15件 (山形県11件、神奈川県2件、埼玉県、愛媛県各1件)、CA6型28件 (神奈川県、富山県各9件、秋田県8件、栃木県2件)、CA4型10件 (神奈川県、大阪府各3件、栃木県、奈良県、和歌山県、福岡県各1件)、CA5型3件 (島根県2件、高知県1件)、CA2型1件 (高知県) などが報告されている。

◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2010年

2010年第1～32週までの検出総数は471件で、第9～10週に山形県の老人ホームでの集団発生から0111 (VT1) が7件、第16～18週に京都府の飲食店での集団発生から0157 (VT1&VT2) が4件、第22週に兵庫県の飲食店での集団発生から0157 (VT1&VT2) が3件、第28週に山形県の福祉・養護施設での集団発生から026 (VT1) が6件検出されている。第3週に大阪府でインドネシアへの渡航者、第6週に千葉県でニュージーランドへの渡航者、第16週に静岡県でベトナムへの渡航者、第22週に千葉県で韓国への渡航者各1例から0157が検出されている。2010年1～8月に0157が35道府県から307件、026が25道府県から82件、その他の血清型が24道府県から84件 (このうち、091が12道府県から16件、0111が6県から13件) 報告されている。

◆インフルエンザウイルス2009/10シーズン

AH1pdmは2010年第4週以降減少し、第12週以降は少数の報告となっている。

直近の2010年第28～32週の5週間ではAH1pdmが8県から21件 (茨城県、香川県、大分県各4件、奈良県3件、静岡県、沖縄県各2件、山形県、神奈川県各1件)、AH3亜型が10県から18件 (栃木県、千葉県各4件、三重県、香川県各2件、秋田県、埼玉県、神奈川県、山梨県、高知県、沖縄県各1件)、B型はビクトリア系統株が2県から6件 (沖縄県5件、広島県1件) 報告されている。AH1pdm (21件) は分離・検出例全体 (45件) の47%を占めている。このうち、輸入例からの分離・検出が6件 (AH1pdm 2件、AH3亜型4件) 報告されている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は<http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高橋 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(33週)	高知県(34週末累計) H22/1/4~H22/8/29	全国(33週末累計) H22/1/4~H22/8/22
			中央東	高知市	中央西							
内科・小児科	インフルエンザ						2	2 (0.04)		126 (0.03)	2,548 (53.08)	224,080 (46.98)
小児科	咽頭結膜熱		2	3	3	2	4	14 (0.47)	22 (0.73)	807 (0.27)	136 (4.53)	23,302 (7.70)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	10	2			13 (0.43)	12 (0.40)	1,461 (0.49)	744 (24.80)	132,681 (43.83)
	感染性胃腸炎	9	15	21	6	1	24	76 (2.53)	79 (2.63)	8,123 (2.74)	7,212 (240.40)	795,992 (262.96)
	水痘		5	5	1		1	12 (0.40)	35 (1.17)	1,871 (0.63)	1,496 (49.87)	164,662 (54.40)
	手足口病	7	9	6	9	7	14	52 (1.73)	45 (1.50)	3,983 (1.34)	3,111 (103.70)	122,414 (40.44)
	伝染性紅斑		4	5	1			10 (0.33)	13 (0.43)	1,005 (0.34)	189 (6.30)	30,011 (9.91)
	突発性発疹		4	1	3	2	2	12 (0.40)	16 (0.53)	1,969 (0.66)	418 (13.93)	57,114 (18.87)
	百日咳			1	1			2 (0.07)		111 (0.04)	52 (1.73)	3,732 (1.23)
	ヘルパンギーナ	4		6	1		6	17 (0.57)	23 (0.77)	3,905 (1.32)	962 (32.07)	124,317 (41.07)
	流行性耳下腺炎		2	2		2	1	7 (0.23)	4 (0.13)	3,572 (1.20)	174 (5.80)	115,200 (38.06)
	RSウイルス感染症									201 (0.07)	760 (25.33)	46,350 (15.31)
眼科	急性出血性結膜炎									10 (0.01)	2 (0.67)	401 (0.59)
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)	3 (1.00)	544 (0.81)	54 (18.00)	12,876 (18.99)
基幹	細菌性髄膜炎			1				1 (0.14)		10 (0.02)	10 (1.43)	300 (0.65)
	無菌性髄膜炎									29 (0.06)	14 (2.00)	526 (1.14)
	マイコプラズマ肺炎								1 (0.14)	152 (0.33)	47 (6.71)	5,710 (12.33)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								2 (0.29)	21 (0.05)	21 (3.00)	374 (0.81)
計 (小児科定点当たり人数)	20 (10.00)	42 (6.00)	63 (5.45)	27 (9.00)	14 (7.00)	54 (10.65)	220 (7.21)					
前週 (小児科定点当たり人数)	22 (11.00)	40 (5.71)	100 (8.55)	40 (13.33)	18 (9.00)	35 (7.00)		255 (8.30)	27,900	17,950 (561.55)	1,860,042	

注 ()は定点当たり人数。

定点当たり

第34週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高橋 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(33週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ						0.25	0.04		0.03
小児科	咽頭結膜熱		0.29	0.27	1.00	1.00	0.80	0.47	0.73	0.27
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.14	0.91	0.67			0.43	0.40	0.49
	感染性胃腸炎	4.50	2.14	1.91	2.00	0.50	4.80	2.53	2.63	2.74
	水痘		0.71	0.45	0.33		0.20	0.40	1.17	0.63
	手足口病	3.50	1.29	0.55	3.00	3.50	2.80	1.73	1.50	1.34
	伝染性紅斑		0.57	0.45	0.33			0.33	0.43	0.34
	突発性発疹		0.57	0.09	1.00	1.00	0.40	0.40	0.53	0.66
	百日咳			0.09	0.33			0.07		0.04
	ヘルパンギーナ	2.00		0.55	0.33		1.20	0.57	0.77	1.32
	流行性耳下腺炎		0.29	0.18		1.00	0.20	0.23	0.13	1.20
	RSウイルス感染症									0.07
眼科	急性出血性結膜炎									0.01
	流行性角結膜炎			2.00				0.67	1.00	0.81
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.14		0.06
	無菌性髄膜炎									0.06
	マイコプラズマ肺炎							0.14		0.33
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							0.29		0.05
計 (小児科定点当たり人数)	10.00	6.00	5.45	9.00	7.00	10.65	7.21			
前週 (小児科定点当たり人数)	11.00	5.71	8.55	13.33	9.00	7.00		8.30		

2010年週報推移(定点当たり)

